

「200年経っても色褪せない」天才作家による人間ドラマの傑作 最新訳

ジェーン・オースティン  
理性と感性

2024年5月14日発行

株式会社あさ出版(代表取締役:田賀井弘毅、所在地:東京都豊島区)はジェーン・オースティン 著  
パーカー敬子 翻訳『理性と感性』を2024年5月14日(火)に刊行いたします。

オースティンの傑作の中で最初に出版されたもの

『理性と感性』は『エリナとマリアン』という題で書簡体の小説として一七九五年頃に書かれていた。理性的で感情を表に出さない姉エリナと、自分の感情に正直な妹マリアン。それぞれが困難な恋愛に苦しみつつたどり着いた幸福への道とは。

## タイトル: 理性と感性

著者: ジェーン・オースティン 翻訳: パーカー敬子

ページ数: 376ページ ISBN: 978-4-86667-676-0

価格: 2,200円(10%税込) 発行日: 2024年5月14日

## 【本書の構成】

登場人物、全十三章、訳者あとがき

## 【翻訳者プロフィール】

## パーカー敬子(パーカーけいこ)

1957年東京女子大学文学部英米文学科卒業、カナダに渡る。  
1964年にトロント王立音楽院よりARCT(Associate of the  
Royal Conservatory of Toronto)の教師資格を得て、46年  
間音楽理論を主として教授。2016年に同音楽院より第一回  
Teacher of Distinction賞を受賞。1950年代後期よりジェ  
ーン・オースティン研究を始め、1981年にJane Austen Society  
of North America(JASNA)に入会。バンクーバー支部長を務  
め、2007年バンクーバー市で開催された年例会の委員長を務め  
る。1993年カナダ、バンクーバー市の University of British  
Columbia 大学院English Departmentより修士号を取得。  
1993年から2004年までShakespeare Society of  
Vancouver の月刊 Newsletter の副編集長。2015年よ  
2022年まで英語圏最大のエッセイコンクールJASNA Essay  
Contestの審査員の一人。1998年よりバンクーバー近辺の日系  
シニアの為に「音楽の会」(コロナ禍で休会中)を、また2011年か  
らは「ジェーン・オースティンを英語で読む会」を主催、現在に至る。訳  
書にオースティン作の『エマ』、『説得』、『マンズフィールド荘園』(い  
ずれも近代文藝社)、『誇りと偏見』(あさ出版)がある。

好評既刊:  
『誇りと偏見』2020年5月27日発行  
9784866672021

書評・著者インタビュー等のご検討をいただければ幸いです。情報掲載、画像提供の問い合わせ

古垣(フルガキ) TEL: 03-3983-3225 090-4424-6911 furugaki@asa21.com

株式会社あさ出版 東京都豊島区南池袋2-9-9 第一池袋ホワイトビル6階